

復興ありがとうホストタウン（第三次）自治体について

平成 30 年 4 月 3 日

| 自治体 (相手国等) | 受けた支援の概要 | 取り組もうとする事業の概要 |
|-----------------|--|--|
| 岩手県雫石町 (ドイツ) | <p>・ドイツ連邦共和国のバートヴィンプフェン (BAD WIMPFEN) 市及び隣接するネッカーズウルム (NEKARSULM、平成 16 年交流開始) 市は、平成 7 年 2 月に雫石町国際交流協会と友好都市提携を締結。両市の交換留学で雫石町を訪問したドイツ人生徒や卒業生らが中心となって、東日本大震災発生直後、震災で大きな被害を受けた学校の子どもたちの教育支援をしたいという思いから、「学校が学校を救う」救援募金を立ち上げ、生徒たちが市民を巻き込んで募金活動を実施。これを、雫石町でドイツに交換留学した者で構成される OB・OG の会「雫石・ドイツ翼の会」等が、山田町を含む岩手県沿岸部の 4 市町 11 校にドイツ学生の趣旨を伝えながら、その善意を届けたもの。</p> <p>・平成 23 年 6 月末に町国際交流協会に届けられた第一次義援金は、同年 8 月 1 日、山田町立山田中学校の生徒の学習及びクラブ活動に役立てほしいと、町国際交流協会会長から山田町教育委員会教育長に贈呈された。</p> | <p>・大使館員や元オリンピック等を招待し、大会機運醸成イベントを開催予定。</p> <p>・大会期間中、義援金活動の中心的役割を担った方々を中心に招待し、日本・雫石町の文化体験、被災地見学を実施する他、2020 年東京大会においては町民がドイツチームを応援。</p> <p>・大会終了後、ドイツの大会参加選手等に雫石町を訪問してもらい、住民交流会、地元小中学生との交流会を実施。</p> <p>・交流事業を展開するにあたっては、義援金を受けた山田町と連携し実施することとし、ドイツに対し、いただいた支援への感謝と復興した姿を発信。</p> |

| | | |
|---------------------------|---|---|
| <p>宮城県石巻市 (チュニジア)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 4 年から始まった旧桃生町（ものうちょう）と東北大学チュニジア留学生の交流を契機に、在京チュニジア大使の訪問などを通して、親睦を深めてきた。 ・東日本大震災時には、在京チュニジア大使館が中心となり、被災直後の被災者へのチュニジア料理の炊き出しや、同大使館が関係団体に呼びかけて集めた生活物資の配布などを行った。 ・在京チュニジア大使館主催のチャリティコンサートや、大使公邸でのレセプションを通じて集まった収益金が石巻市の災害復旧や被災者への配分などに活用された。 | <ul style="list-style-type: none"> ・大会前：地元小中学生をはじめとする、市民のチュニジアに対する理解を深める講演会・講座の開催、チュニジアの元オリンピック選手を招いた子どもたちとのスポーツ教室等の開催、市内沿道にチュニジアの国花（ミモザ）等を植樹、等 ・大会期間中：市庁舎での横断幕の掲示や市民応援団による応援。 ・大会後：復興を成し遂げつつある石巻の姿を見てもらうため、チュニジアメダリストやアスリート、応援に来たチュニジア人を招いての祝賀レセプションや石巻体験ツアーを開催。石巻復興マラソンへの招待やチュニジア・石巻市周辺のスポーツ少年団の相互派遣交流を実施。 |
|---------------------------|---|---|